

平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名： 高校教育指導課

担当名： 未来を拓く学び推進担当

内線： 6625

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B32	未来を拓く「学び」プロジェクト			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	指導内容充実費	
事業期間	平成27年度～平成31年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			戦略項目	06	時代に応え未来を拓く人材育成	
					分野施策	020101	確かな学力と自立する力の育成		
1 事業の概要 時代に応え未来を拓く人材を育成するため、協調学習の取組をさらに発展させ、県の枠を超えた教員ネットワークを構築し、質の高い教材を共同開発する。 授業資料・ビデオのインターネット配信やオンライン講座等、ICT活用による学習環境を提供する。 (1) 協調学習による授業改善 1,600千円 研究会等の旅費が見込みを下回ったことによる減				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 協調学習による授業改善(研究協議会、公開授業) 5,000千円 イ ICT活用による授業改革(無線LAN機器等整備) 19,800千円 (2) 事業計画 ア 時代に応え未来を拓く人材を育成するため、協調学習の取組をさらに発展させ、県の枠を超えた教員ネットワークを構築し、質の高い授業教材を共同開発する。また、次代を担う若手教員や核となる教員の育成など、教員の層を盤石なものにし、このような取組をジャパNSTANDARドにする。 イ 授業資料や授業ビデオのインターネット配信やMOOC等の世界的オンライン講座の受講など、ICT活用による学習環境を提供することで、生徒の「多様な学び」を支援し、生徒一人一人の能力や特性、学力をさらに伸ばさせる。 (3) 事業効果 ア 生徒の学力の向上 (ア) 主体的に学び、ICTに強く、チームワークによる課題解決能力を備えた生徒を輩出できる。 イ 教員の授業力の向上 (ア) 生徒の「学び」の多様性を理解し、世界的視野に立ち、質の高い授業実践ができる教員を育成できる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ア 東京大学等の研究機関や企業と連携し、学習科学の知見を採り入れた協調学習の研究成果を授業づくりに活用。 (5) 補正予算の概要 (1) 協調学習による授業改善：全体研究会等の旅費が見込みを下回ったことによる減額。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.6人=15,200千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	1,600							1,600	3,400
現計額	5,000							5,000	